

はじめに

人口減少・少子高齢化やデジタル化の進展、大規模災害の頻発など、地方公共団体を取り巻く環境が大きく変化する中、複雑・多様化する行政課題に的確に対応し、住民ニーズに応じていくためには、職員一人ひとりが心身共に健康で、その能力を十分発揮できることが求められます。

しかしながら、総務省が実施した「令和５年度地方公共団体の勤務条件等に関する調査」によれば、メンタルヘルス不調による長期休務者は、全国で 48,952 人（対前年比 4,188 人増）であり、また、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会が取りまとめた「地方公務員健康状況等の現況（令和５年度の状況）」によれば、その数は 10 年前の約 1.9 倍、15 年前の約 2.0 倍となっています。

増加傾向にあるメンタルヘルス不調者の抑制を図るため、各地方公共団体は、引き続き、その対策に積極的に取り組む必要があり、とりわけ、管理監督者においては、部下のメンタルヘルス不調を早期に発見し、適切な対応を行うことで職場環境の改善や心の健康維持・増進を図るラインケアに取り組む重要性が指摘されているところです。

こうした状況も踏まえ、各市町の管理監督者の皆様にメンタルヘルス対策の重要性を改めて認識いただくとともに、身近な相談者として職員への関わり方を身につけていただけるよう、本年度も web 方式によりセミナー開催することといたしました。

本セミナーが、皆様の職場におけるメンタルヘルス対策の一助になれば幸いです。

静岡県総務部市町行財政課

静岡県市町村職員共済組合